

総

説

1. 職員現員数

61.5.1 現在

区 分	総 務 課	漁場開発科	海洋資源科	境 港 分 場	試 験 船	
					第 1 鳥取丸	第 2 鳥取丸
場 長	1					
次 長	1					
専 門 研 究 員			1	1		
科 ・ 分 場 長		1	(1)	(1)		
主 任 ・ 主 事	1					
専 門 技 術 員				1		
研 究 員		1	1			
水 産 技 師			1	1		
運転士(自動車整備士)	1					
船 舶 乗 組 職 員					13	4
計	4	2	3	3	13	4

2. 事務分掌

61.5.1 現在

	職 名	氏 名	分 掌 ・ 事 務
	場 長	大 谷 丈 夫	場の総括
	次 長	井 上 典 三	課の総括
	専 門 研 究 員	佐 野 茂	分場の総括
	”	野 沢 正 俊	
総 務 課	課 長 (兼)	井 上 典 三	人事・予算・庶務
	主 任	山 本 恵 美 子	給与・文書・経理
	主任自動車整備士	博 田 則 義	公用車の運転・管理
漁場開発科	科 長	松 本 勉	科の総括・人工礁調査・内水面増殖・魚病試験
	研 究 員	増 田 紳 哉	沿岸漁場造成・海洋牧場開発調査
海洋資源科	科 長 (兼)	野 沢 正 俊	科の総括・砂浜漁場資源調査
	研 究 員	山 田 英 明	トビウオ資源開発調査
	水 産 技 師	福 井 利 憲	沿岸漁海況調査
境 港 分 場	分 場 長 (兼)	佐 野 茂	200 カイリ水域内資源・底魚漁場調査
	専 門 技 術 員	永 井 浩 爾	水産業改良普及活動の指導
	水 産 技 師	大 島 亮 二	沖合漁海況・新漁場開発・浮魚漁場調査

	職名	氏名	分掌・事務
第1鳥取丸	船長	吉岡明信	第1鳥取丸の運航・維持管理
	機関長	大西宏好	機関管理
	主任航海士	小谷弘文	漁労機器等の維持管理
	〃	川西恒信	乗組
	〃	宇野 巍	〃
	〃	吉沢盛夫	〃
	航海士	森脇隆志	〃
	船員	岩崎光真	〃
	主任機関士	浜田利幸	〃
	〃	宮脇富士男	〃
	機関士	古田 栄	〃
	主任通信士	松本 仁	無線機器等の維持管理
通信士	生田繁行	乗組	
第2鳥取丸	船長	早野一成	第2鳥取丸の運航・維持管理
	機関長	田中 洵	機関管理
	主任航海士	沢 富 一	無線機器等の維持管理
	〃	山下秀実	漁具等の維持管理

3. 事業別予算（昭和61年度当初）

事業名	予算額(円)	摘要
水産試験場費	82,613	
管理運営費	7,302	
一般管理費	7,302	単県
試験研究費	48,882	
資源生態調査費	13,599	
200カイリ水域内漁業資源調査費	3,348	国委 $\frac{10}{10}$
海洋牧場開発調査費	5,477	国委 $\frac{10}{10}$
トビウオ資源開発利用試験費	3,560	国補 $\frac{1}{2}$
砂浜漁場資源調査費	1,214	単県
漁場環境調査費	3,618	
沖合漁海況調査費	2,956	国補 $\frac{1}{2}$
沿岸漁海況調査費	662	単県

事業名	予算額(円)	摘要
漁場開発試験調査費	25,271	
浮魚漁場調査	11,425	{ 単県 財産収入
底魚漁場調査	6,394	{ 単県 財産収入、国委 $\frac{10}{10}$
沿岸漁場造成技術開発試験費	890	単県
新漁場開発試験調査費	6,562	{ 単県 財産収入
増養殖技術開発試験費	6,394	
魚病対策試験費	1,000	国補 $\frac{1}{2}$
増養殖指導費	448	単県
ズワイガニ移殖放流試験費	4,946	単県
船舶維持費	26,429	
第1鳥取丸維持管理費	10,270	単県
第2鳥取丸維持管理費	1,479	単県
第1鳥取丸中間検査費	14,680	単県